

電子申告システム (Ver.H22.22) 概要

「電子申告システム Ver.H22.22」での主な対応内容についてご案内致します。

1 プログラムについて (3/28 公開内容)

電子申告応援			
3月28日公開	InterKX 電子申告	H22.22	更新の対象：H21.10以降
Ver.H22.20からのバージョンアップの場合は、ライセンスキーは必要ありません。			
各アプリケーション(電子申告プログラム)の更新用プログラム(連動アプリケーション)			
3月28日公開	InterKX 法人税	H22.2.e6	更新の対象：H22.20以降

2 平成22年度法人税 申告可能帳票追加

e-Tax(国税受付システム)の平成22年度法人税別表の受付帳票の追加対応に伴い、平成22年度法人税の申告可能帳票の追加に対応しました。現在受付対象外となっている付表(同族会社)、付表(土地譲渡)、特別償却付表1、3、5、6、18の受付が開始されます。これにより、法人税システム平成22年度で対応しているすべての別表等の申告が可能になります。

3 地方税マスターの更新(電子申告対応市町村の追加)

平成23年3月22日、および4月1日にサービス開始となる地方公共団体があります。これらの団体に対しても手続き追加や申告等を行えるようにするために、地方税マスターの更新を行いました。

参考) <http://www.eltax.jp/newsarticle.2011-02-23.0000000001/index.html/>

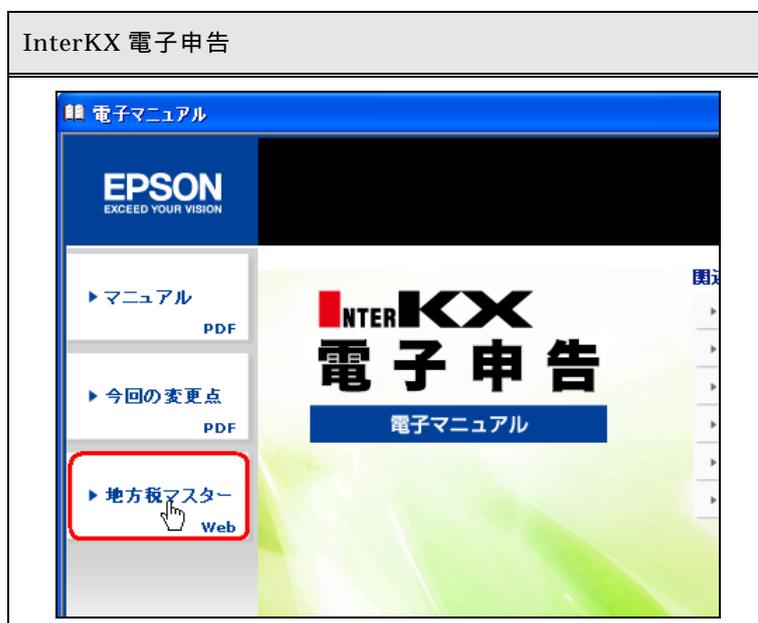
地方税マスター更新ツールの対応

3/22に地方税マスター更新ツールを公開します。H22.22リリース前に追加された市町村に対して電子申告をしたい方は、「地方税マスター更新ツール」をお使いください。

地方税マスター更新ツール URL) <http://www.tabisland.ne.jp/support/Download.nsf/DLList3/D0229>

電子マニュアルからの起動

電子マニュアルメニューの<地方税マスター>ボタンから地方税マスターを更新することができます。



電子署名応援の電子マニュアルメニューにも<地方税マスター>ボタンはあります。

4 動作環境等について

使用できる Windows のバージョンは以下のとおりです。

InterKX 本体

OS		データベース セットアップ	クライアントセットアップ	
			国税申告	地方税申告
スタンド アローンモデル	Windows® 2000 Professional			x
	Windows® XP			
	Windows Vista®			
	Windows® 7			
ネットワーク モデル	Windows® 2000 Server		x	
	Windows Server® 2003			
	Windows Server® 2008			
	Standard			

クライアント PC

OS		データベースセットアップ (モバイル基本パック使用時)	クライアントセットアップ	
			国税申告	地方税申告
Windows® 2000 Professional				x
Windows® XP (32 ビット版)				
Windows Vista® (32 ビット版)				
Windows® 7 (32 ビット版)				
Windows® 7 (64 ビット版)			(下記注意 2 参照)	x

1 地方税申告について

地方税申告を行う場合は、クライアント PC に以下の環境が必要です。(以下の環境以外は動作保証外)
地方税申告を行う場合には、サービスパックの有無や Internet Explorer のバージョンなどもご確認ください。

- ・ Windows XP (SP3) 32bit、Windows Vista (SP2) 32bit、Windows 7 32bit
- ・ Internet Explorer 7、Internet Explorer 8

2 64 ビット OS について

1 台でも 64 ビット版 OS のコンピューターを使用する場合は、ネットワーク基本パック Ver.4.0 以降を使用する必要があります。

また、IC カードマネージャー(日税連 電子証明書 IC カードドライバ)が、64 ビット版 OS には対応していないため、署名処理については 32 ビット版 OS をお使いください。(2011 年 3 月現在)